

APPEAL

発行者
JR 東海労関西地本
大阪台車検査車両所分会
2013年2月21日
NO.18

社員の声を後回しにした結果 起こるべくして起きた事象発生！！

他労組組合員の皆さん！

2月20日南朴木科長は輪軸グループの朝の点呼において「昨日交番検査において Z47 編成軸箱の廃油栓が緩んでいるのが発見されました」続いて「緊張感を持って作業を行ってください」旨の内容を伝えた。

Z47 編成は前日に台車交換が行われており、幸いにも油漏れ等は確認されていなかったようです。軸箱の廃油栓は最初から緩んでいたのか何らかの要因により緩んだのかは原因は明らかにされていませんが、発見当日担当 B 担当が、また翌日には C 担当が業務から外され、その後担当箇所の見習いが行われていることから、会社は、R 組の担当者に原因があるとして処理したいようです。

現場の声を放置した結果招いた事象！

今回起きた軸箱廃油栓を締め付ける作業は、昨年の新体制発足直後から要員配置の不備が指摘されてきました。一人の C 担当が、以前 B 担当が行っていた GK の給油、フラッシング作業、軸箱廃油栓の締め付け、さらには軸箱前ふたの締め付け、対面チェック、作業の合間をみて軸箱組立での締め付け作業とまさに R 組ブースを右往左往しなければなりません。

新体制発足直後から R 組のほとんどの社員から「バタバタ作業しては危険だ」「いつかミスが起きてもおかしくない」「B 担当の作業をなぜ C 担当にやらせるのか」等の意見が出ていました。管理者を始め所長にもこのような問題点は伝えられており、要員配置を見直すべきと要望されていました。このような職場の声を真摯に受け止め、放置せずすぐに対策を講じていれば今回の事象は起きなかったのではないのでしょうか。

東海労は一刻も早い要員増と要員配置の変更を求めます！

要員配置の不備を指摘！

社員への転嫁を許すな！！

現場の声を放置してきた責任を

私たちは職場の声を訴えていきます！